

意見書

この定例会では、次の意見書案を可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

社会保障関係費の 2200億円削減方針の撤回を求める意見書

地域における医師不足をはじめとして、医療、介護、福祉などの社会的セーフティネット機能が著しく弱体化している。非正規労働の拡大は、生活保護基準以下で働く、いわゆるワーキングプア層をつくり出し、社会保険や雇用保険に加入できないなど、住民の生活不安は確実に広がっている。

そのような中で、7月29日に閣議了解された「平成21年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」において、社会保障関係費予算を2200億円抑制することが示された。これでは、地域の医療体制や介護人材確保は深刻な事態に陥りかねない。不安定雇用が拡大し、雇用情勢の悪化が懸念される中、労働保険特別会計の国庫負担金の削減は、雇用社会の基盤を揺るがしかねない。現下の諸状況に鑑みて社会保障の削減を行うことは許されず、安定的な財源を確保していくことが重要であると考えます。

よって、桐生市議会は、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要請する。

記

- 1 「経済財政運営と構造改革に関する基本指針2006」（骨太の方針2006）で打ち出された社会保障関係費を毎年2200億円削減する方針を撤回すること

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長
○内閣総理大臣 ○財務大臣
○厚生労働大臣

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は

2月26日(木)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部（要旨）を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成20年第4回定例会の会議録は、3月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

再生紙を使用しています。

平成二十年十月二十五日に本会議場で、桐生市子ども議会が開催され、市内の各小学校から選ばれた三十一人の児童が、市政についてさまざまな意見や提言を行いました。



(桐生市子ども議会)

桐生市子ども議会が
開催されました